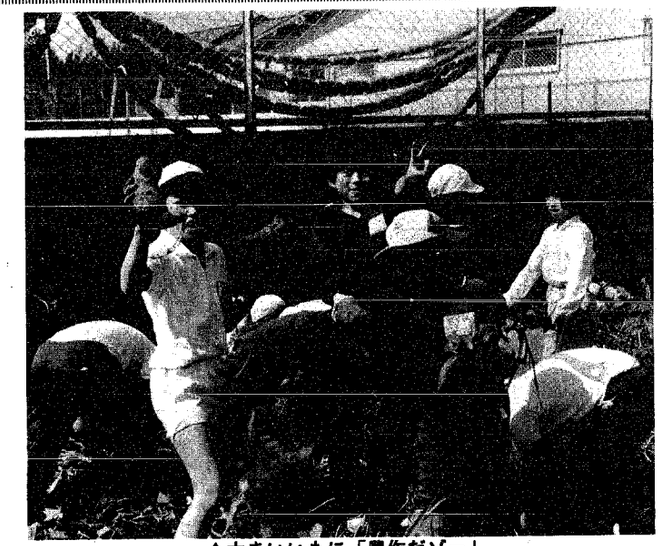
いも堀りを体験



▲大きいいもに「豊作だゾー」
▼「うまいかーまだあるゾー」

五月中旬、プール脇に植えられたさつまいもの小苗、生育も順調で去る十月三日、四年生全員でいも堀りを体験しました。

小鎌でいものつるを払い土の中から大きいいもを堀り当ててはワッと歓声。

また、五日には父母たちといっしょにグランドで焼きいもに。みなさんおいしそうに食べていました。

■寄付金を頂戴

○本間正義さん（月潟）から福祉事業に役立てて欲しいと、九月十三日亡くなられた父、国之輔さんの香典返しとして十万円のご寄付をいただきました。

○「みずほ会」（会長、深沢三知子さん）からは村内のめぐまれないお年寄りにぜひと五千円のご寄付をいただきました。

ご厚志を有効に使用させていただきます。ありがとうございました。

歳時記　マツタケ

庶民の食卓からは縁遠くなってしまったマツタケですが、いったい今、どのくらい採れているのでしょうか。

林野庁の調べでは、昨年の国内生産高は約百八十トン。国民一人当たりにすると、一・五グラムという微量です。

これに対し、輸入高は千八十二トン。内訳は韓国六百二十九トン、北朝鮮三百七十五トン、カナダ六十六トンなど。日本の店頭に並ぶマツタケの八六％は輸入品ということになります。いずれも飛行機で送られてきますが、北朝鮮からは直行便がないので北京経由で運ばれてきます。

今では希少価値の国産マツタケですが、昭和三十年ごろには三千トンも採れていました。こんなに減ってしまったのは、落葉や小枝を拾う人が少なくなったからだといわれます。マツタケ菌はデリケートな菌なので落ち葉かきや下草刈りなどの手入れを怠ると、他の菌に負けて生えにくくなってしまうのだそうです。

では、マツタケの人工栽培はというと、一昨年に岡山県の試験場で菌を移植する実験をしたところ、やっと一本だけ生えてきた程度とか。マツタケ、ショウロ、シメジの栽培はかなり難しいようです。

（市販の人工シメジは、実はヒラタケ）

ところで十一月は、二十三日を中心に全国で農林水産祭が行われます。東京・晴海の貿易センターで開催される「実りのフェスティバル」（十六～十八日）はそのメイン行事の一つ。マッタケはもちろん、全国の特産品の展示・即売が人気を集めます。

下曲通部落が一位を独占

味セーキ梨果実品評会

去る、9月20日、月潟村農業振興協議会主催による、果実品評会が開催されました。

本年度から味セーキ梨（大袋一重袋栽培）を対象に、選果場出荷時2L規格程度のコンテナを1ケース用意して頂き、その中から五審査員が、6コ抽出してサビ果、果形、糖度、石ナシ等の項目により審査を行ないました。

結果は次のとおりです。

○個人の部（敬称略）

一　位　児玉　恒幸
二　位　佐藤　誠一
二　位　大関　了
三　位　山田　由市
三　位　小林　正義
三　位　河合　成一

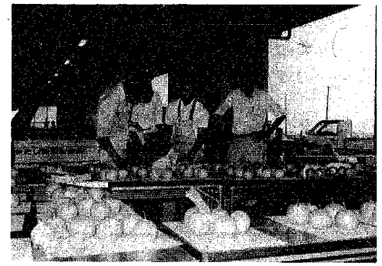
○団体の部

下曲通支部

○糖度賞

小湊　文隆　12、2度
阿部　成雄　12、2度

尚、普及所より出品された味セーキ梨は糖度で10、7度～12、2度（平均で11、5度）と甘い梨の反面、干ばつの影響で石ナシが多く目だったとのことでした。



◀普及員、営農指導員らで行なわれた審査風景

SDカードは安全運転ドライバーのあかし

SDカードは、無事故・無違反証明書または運転記録証明書を申し込まれた方で、過去一年間以上無事故・無違反の皆さんに発行されるカードです。一人でも多くのドライバーの方に利用していただき、安全運転者としての自覚と誇りを持っていただこうというものです。SDカードを希望される方は、自動車安全運転センターにお申し込みください。

SD

■新潟県事務所
（電）0252（31）1288

ご存じですか電子郵便

●全国どこでも利用できる　レタックス

時は江戸。一刻も早く手紙を届けようと街道をひた走った飛脚たち。その気質は現代に伝わり、今また新しい形で登場しました。昨年十月に、全国どこでも利用できるようになった「レタックス（国内電子郵便）」です。

今までの郵便の中で、一番早く届いたのは速達郵便。しかし、電子の力はその壁を破りました。郵便にファクシミリを取り入れ輸送の時間を短縮し、差し出された日の翌日には、日本全国どこへでも届けられます。

レタックスの用途はさまざまです。一般の手紙はもちろん、ビジネスに使う書類や精密な資料も早く正確に送れます。

また、結婚、入学、就職などのお祝いのメッセージやお悔やみなどは、手書きの文章やイラストを使って電報代わりに利用することもできます。慶弔用として特別にデザインされた発信用紙もありますので、郵便局の窓口でご覧ください。

レタックスの料金は一枚目が五百円。二枚目からは一枚につき三百円です。

また、配達日の指定ができるのも、利用者にとってはうれしいサービスです。

●航空便より早い　インテルポスト

電子郵便は国際郵便としても利用できるようになりました。国際電子郵便の愛称はインテルポストです。従来、航空便で四～五日かかっていたものが、インテルポストを使うと時差の関係もあり、差し出された日と同日付けか翌日付けで配達されます。

現在のところ、インテルポストを利用できる国は二十か国。料金は、アメリカ合衆国を例にとると一枚二千二百円、二枚目からは九百円です。

なお、レタックスは全国どこの郵便局でも取り扱っていますが、インテルポストは全国千二百か所の主要な郵便局での取り扱いとなります。

あなたのまごころを瞬時に伝える新しい郵便システム。〝電子の手紙〟を上手にご利用ください。